



川合玉堂《藤》1929年
岐阜県美術館蔵
(6月7日まで展示)

岐阜県美術館所蔵品による企画展のご案内

「ルドンと日本」

「春の名品展 日本画と工芸を中心に」

岐阜県美術館は、2019年11月3日にリニューアルオープンし、同時に3つの企画展が実施できる美術館になりました。毎年、約4200点の所蔵品を活用したテーマ展を所蔵展示室で4期に分けて開催しています。令和2年度の所蔵品展示では、11テーマを企画し、岐阜県美術館が世界に誇るルドンコレクションや岐阜県ゆかりの作家・作品を紹介する展覧会等を開催します。

第1期は「ルドンと日本」「春の名品展 日本画と工芸を中心に」を開催します。

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

展覧会名	「ルドンと日本」「春の名品展 日本画と工芸を中心に」
会場	岐阜県美術館 展示室 1a・1b・1c「ルドンと日本」 展示室 1d「春の名品展 日本画と工芸を中心に」
会期	2020年5月19日(火)～8月23日(日)「ルドンと日本」 2020年5月19日(火)～7月5日(日)「春の名品展 日本画と工芸を中心に」 (5月19日現在の会期予定です。今後の会期変更は当館Webサイトに掲載) (会期中一部展示替いたします) 開館時間／10時00分～17時00分(入場は閉館30分前まで) 休館日／毎週月曜日(祝・休日の場合はその翌平日) 臨時休館／7月6日(月)～7月13日(月)
料金	一般340円 大学生220円 高校生以下無料 ※展示室2と共通観覧券
主催	岐阜県美術館

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：橋本 展示担当学芸員：青山・廣江・松岡・斎藤
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
TEL 058-271-1313 FAX 058-271-1315
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: c21801@pref.gifu.lg.jp

岐阜県美術館所蔵品による企画展

「ルドンと日本」

展覧会について

岐阜県美術館は、1982年11月の開館以来、オディロン・ルドンとルドンに関連する作家及び作品等を中心に調査・収集・研究をしている。今日までに収集したルドン作品は254点を数え、ルドン研究の重要な美術館として国内外に知られている。

本展は3つの章から成り、岐阜県美術館が所蔵するルドン作品とその時代に関連する日本人作家等の作品約50点を展示・紹介する。

1章では「ルドンと世紀末パリの芸術家」をテーマに、19世紀後半に活躍したギュスターヴ・モロー（1826-1898）、ピエール＝オーギュスト・ルノワール（1841-1919）、山本芳翠（1850-1906）らをルドンとともに紹介する。

2章では「日本におけるルドン受容」をテーマに、ルドンの表現から影響を受けた、坂倉新平（1934-2004）、坪内節太郎（1905-1979）を紹介する。

3章では「ルドンとわたし」をテーマに、水木しげる（1922-2015）、守洞春（1909-1985）、日比野克彦（1958- ）らをルドンとの関連から紹介する。
※会期中一部展示替えあり

本展の見どころ
「ルドンの日本
との関わり」

ルドンの表現に魅了されたのは、洋画家たちだけでなく、日本画家や漫画家、文学者、音楽家まで多岐にわたる。漫画家水木しげる（1922-2015）は、代表作『ゲゲゲの鬼太郎』の原型となる『墓場鬼太郎』において、主要な登場人物のひとり「目玉おやじ」を着想する際にルドンの作品を参照したという。

ルドンが描いた「怪物」や「眼」、「幻想的絵画」を見た作家たち。ルドンの表現を受容し影響を受けた国内外の作家たちが、どのような想像を巡らし、どのような表現をしたか。岐阜県美術館が所蔵するルドン作品とともに展示・紹介する。



《『夢のなかで』Ⅷ. 幻視》
1879年 岐阜県美術館蔵



《『エドガー・ポーに』
Ⅰ. 眼は奇妙な気球のように
無限に向かう》
1882年 岐阜県美術館蔵

オディロン・ルドン 関連年表

		ルドン関連	本展展示予定関連作品
1840 年	0 歳	4 月 20 日、ボルドーに、父ベルトラン、母マリー（＝オディール）の次男として生まれる。ベルトラン＝ジャンと名づけられたが、母にちなみオディロンと呼ばれる。	 ギュスターヴ・モロー 《ピエタ》1854 モローが描いた初期の宗教画。モローはドラクロワらのロマン主義の影響を受け、イタリアで学んだ。1880 年代後半には、「象徴主義者」と呼ばれるようになる芸術家や文学者から、先駆者として仰がれるようになる。
1855 年	15 歳	画家スタニスラス・ゴランから素描を習うとともに、ドラクロワらの作品の素晴らしさについて教えられる。	
1857 年	17 歳	植物学者アルマン・クラヴォーに出会う	
1863 年	23 歳	版画家ロドルフ・ブレスダンと知り合う	 ロドルフ・ブレスダン 《善きサマリア人》1861 新約聖書に出てくる有名なたとえ話「善きサマリア人」を主題にしたリトグラフ。ブレスダンは、ほぼ同じ図柄のペン素描を 1861 年のサロンに出品しているが、その作品タイトルは「キリスト教徒を助けるアブド・エル＝カデル」というものだった。1860 年にシリアで起こったキリスト教徒虐殺事件を重ねあわせている。
1879 年	39 歳	画家アンリ・ファンタン＝ラトゥールから木炭素描を石版にする方法を教わる 最初の石版画集『夢のなかで』刊行	

オディロン・ルドン
《『夢のなかで』
I. 孵化》1879

ルドンが出版した最初の版画集。表紙を含めて 11 点の作品からなる。25 部を出版した。同時代の印象主義などの作品とは一線を画すルドンの方向性を示している。



1881 年	41 歳	『現代生活』社にて木炭画の個展を開催
1882 年	42 歳	石版画集『エドガー・ポーに』刊行
1883 年	43 歳	石版画集『起源』刊行
1888 年	48 歳	石版画集『聖アントワヌの誘惑』第一集刊行
1900 年	60 歳	ドムシー男爵の城館食堂の装飾画を制作。翌年完成。
1902 年	62 歳	ショーソン夫人の邸宅の装飾画を制作

1900 年代、ルドンは二つの新しいジャンルを始め成功を収める。パステルによる肖像画と色彩豊かな花の絵である。同時に、ドムシー男爵やフランスの高級官僚オリヴィエ・サンセールのような個人コレクターの注文で、屏風等の装飾芸術も始める。



オディロン・ルドン
《オリヴィエ・サンセールの屏風》1903

1904 年	64 歳	《眼をとじて》(1890 年) が国家買い上げとなる
1906 年	66 歳	ボンゲルのために屏風を制作

晩年のルドンは、幻想的な草花が漂う背景の中の女性像や古代神話や伝説の世界をとりあげ、色彩の画家として国際的な名声を獲得した。



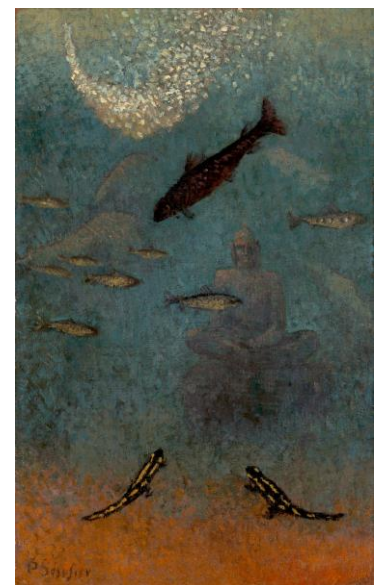
オディロン・ルドン
《オルフェウスの死》1905-10 年頃

1916 年	76 歳	パリの自宅で息を引き取る
--------	------	--------------



山本芳翠《裸婦》1880 年頃 【重要文化財】

山本芳翠の滞欧中の秀作であり、代表作の一つである。日本人の手になる油彩画「裸婦」最初期の作品として重要である。



ポール・セリュジエ
《消えゆく仏陀—オディロン・ルドンに捧げる》
1916

ナビ派の画家セリュジエは、ルドンの死を悼みルドンに捧げる油彩画を制作した。「仏陀」にルドン自身をなぞらせ、手前に「不死」を表す火とかげを配して、ルドンの肉体は滅びたがその芸術は不滅であると暗示した。



坪内節太郎
《砂の花》
1971

岐阜県美術館所蔵品による企画展

「春の名品展 日本画と工芸を中心に」

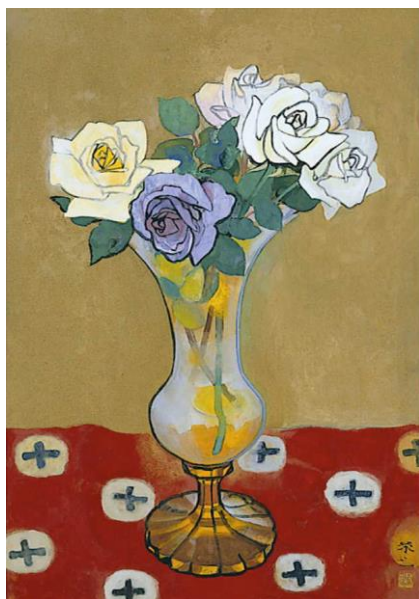
展覧会について

春になると梅、桜、藤など花々が次々と咲く。春は色にあふれ、生にあふれる季節である。

本展では、出品作の荒川豊藏《志野茶碗 銘早春》や《志野菊香合》から早春を、稗田一穂《春野》や川合玉堂《藤》から春の盛を感じとることができる。穏やかな春を過ぎれば、季節は緑鮮やかな夏へと移る。夏の風物詩、鵜飼の絵を数多く残した川合玉堂の作品から選んだのは 20 歳の時に描いた《藍川漁火図》。見た目に涼やかなクリスタルガラスを用いた各務鑛三《瓢型花器》。作家たちが見つめ表現した春から夏の風物詩を岐阜県美術館の名品から紹介する。

※会期中展示替えあり

出品作品例



加藤栄三《ばら》1961 年



川合玉堂《藍川漁火図》1893 年 ※6 月 9 日から展示



荒川豊藏 右奥《志野菊香合》 1954 年頃
左 《志野牡丹香合》 1954 年頃
手前《志野菊香合》 1973 年頃

出品予定作家

日本画

川合玉堂 (1873-1957) 前田青邨 (1885-1977) 川崎小虎 (1886-1977)
加藤栄三 (1906-1972) 土屋禮一 (1946-) 稗田一穂 (1920-)

工芸

荒川豊藏 (1894-1985) 塚本快示 (1912-1990) 小山富士夫 (1900-)
鈴木 藏 (1934-) 加藤孝造 (1935-) 各務鑛三 (1896-1985)

岐阜県美術館所蔵品展

「ルドンと日本」

「春の名品展 日本画と工芸を中心に」



広報画像貸出申込書

FAX 送信番号 : 058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名 :)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載／放送	月	日	発売・放送 (月号)	／発行部数	部
掲載内容					

2. 広報画像はご使用になりますか。

☐ はい 画像データ到着希望日 (月 日)
 ☐ いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

☒	番号	ご掲載時のキャプション表記
☐	①	オディロン・ルドン 《『エドガー・ポーに』 I. 眼は奇妙な気球のように無限に向かう》 1882年 岐阜県美術館蔵
☐	②	オディロン・ルドン 《オルフェウスの死》1905-10年頃 岐阜県美術館蔵
☐	③	ギュスターヴ・モロー 《ピエタ》1854年 岐阜県美術館蔵
☐	④	川合玉堂 《藤》1929年 岐阜県美術館蔵 6月7日まで展示
☐	⑤	川合玉堂 《藍川漁火図》1893年 岐阜県美術館蔵 6月9日から展示
☐	⑥	加藤栄三 《ばら》1961年 岐阜県美術館蔵
☐	⑦	「ルドンと日本」第1章 会場風景
☐	⑧	各務鏝三 《飾皿 銘祈り》1929年
☐	⑨	ピエール＝オーギュスト・ルノワール 《泉》1910年頃 岐阜県美術館蔵
☐	⑩	山本芳翠 《若い娘の肖像》1880年頃 岐阜県美術館蔵

■広報画像一覧

①



②



③



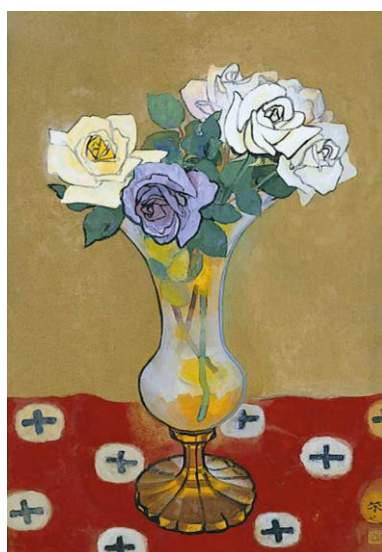
④



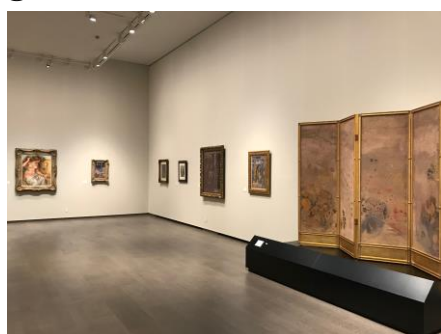
⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。